

就職先企業に対する大学の教育効果に関するアンケート調査結果

本アンケート調査について

1. 調査目的

令和5年度新カリキュラム改定に当たり、その内容が社会のニーズに適合するものであるよう、卒業生の多くが就職先としている企業等に対して、教育成果に関するアンケート調査を実施し、本学の教育改善と自己点検に反映させることを目的とする。

2. 実施期間

令和2年9月4日（金）調査依頼 令和2年9月30日（水）調査回答締め切り

3. 調査対象企業

2015（平成27）年度～2018（平成30）年度の過去4年間で、本学学生を2名以上採用している企業165社

4. 調査手法

URLより回答 <https://forms.gle/4xpmafjTj9etuh7b8>

5. 調査項目

- ・回答企業概要 ・求める人材像
- ・本学学生に求めること ・本学への要望

6. 実施主体

教育開発センター、学生支援部就職担当

7. 回答数（回答率）

68社（41.2%）

貴社の概要について

1. 所在地

所在地	件数
三重県	56
愛知県	7
東京都	2
石川県	1
岐阜県	1
大阪府	1
総計	68

2. 業種について

業種について	件数
卸売・小売業	30
医療・福祉業	7
情報通信業	7
製造業	4
サービス業（ほかに分類されないもの）	3
金融業・保険業	3
公務	3
生活関連サービス業・娯楽業	3
複合サービス業	3
教育・学習支援業	1
建設業	1
宿泊業・飲食サービス業	1
不動産業・物品賃貸業	1
未回答	1
総計	68

3. 従業員数

従業員数	件数
50名未満	3
50名～100名	11
100名～300名	23
300名～500名	15
500名～1,000名	4
1,000名以上	12
総計	68

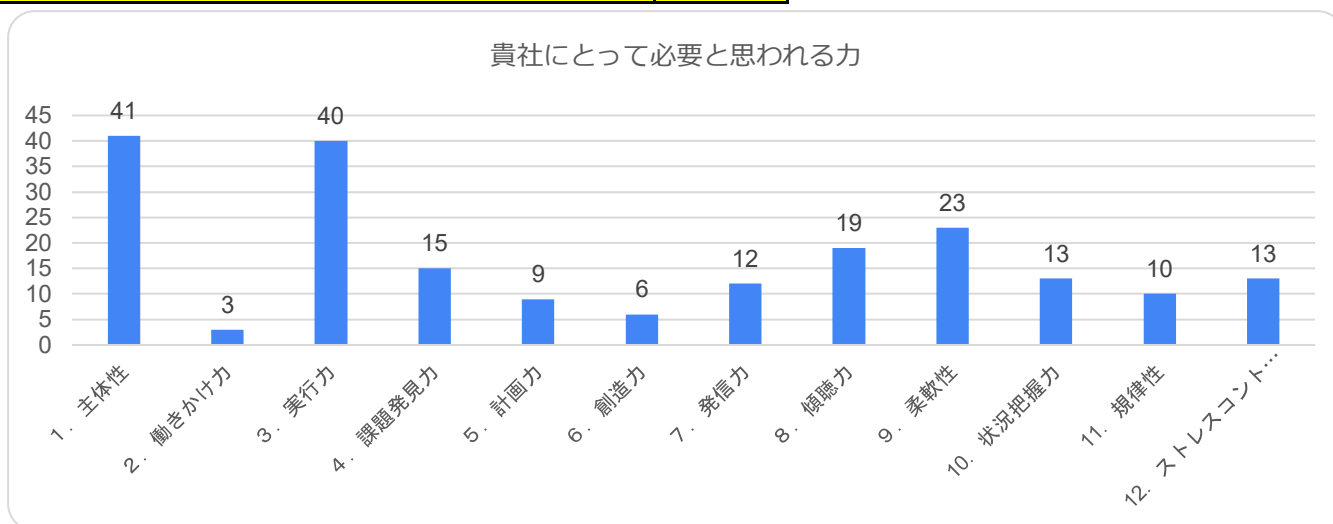
4. 現在の本学卒業生の在職者数

現在の本学卒業生の在職者数	件数
1人～5人	31
6人～10人	19
11人～15人	5
16人～20人	8
26人～30人	1
45人～50人	1
未回答	3
総計	68

貴社が求める人物像について

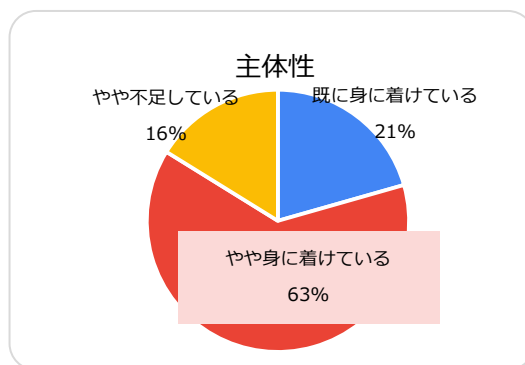
1. 以下のうち、貴社にとって特に必要と思われる力をお聞かせください（3つまで選択してください）

必要と思われる力	件数
1. 主体性	41
2. 働きかけ力	3
3. 実行力	40
4. 課題発見力	15
5. 計画力	9
6. 創造力	6
7. 発信力	12
8. 傾聴力	19
9. 柔軟性	23
10. 状況把握力	13
11. 規律性	10
12. ストレスコントロール力	13
総計	204

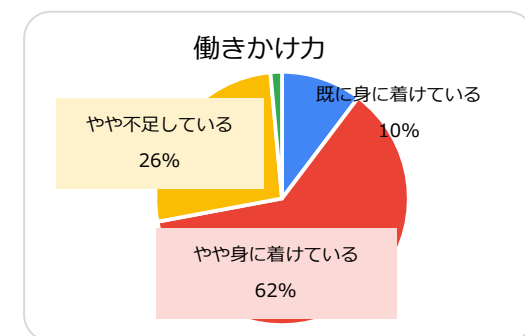


2. 採用していただいた学生についてお聞かせください。

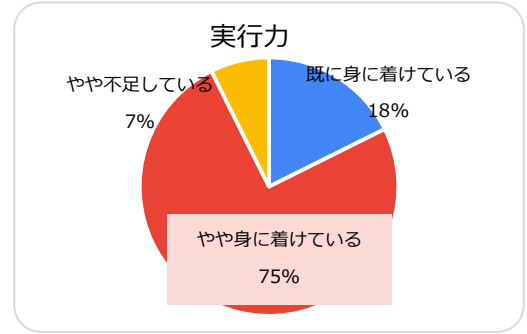
[1. 主体性]	件数
既に身に着けている	14
やや身に着けている	43
やや不足している	11
不足している	0
総計	68



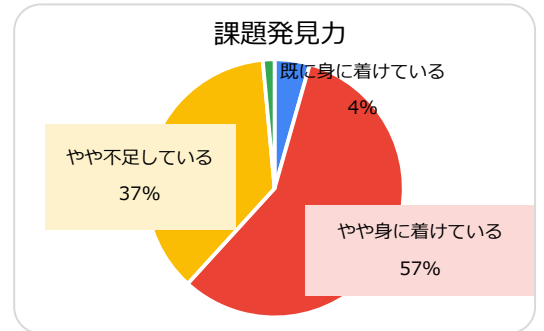
[2. 働きかけ力]	件数
既に身に着けている	7
やや身に着けている	42
やや不足している	18
不足している	1
総計	68



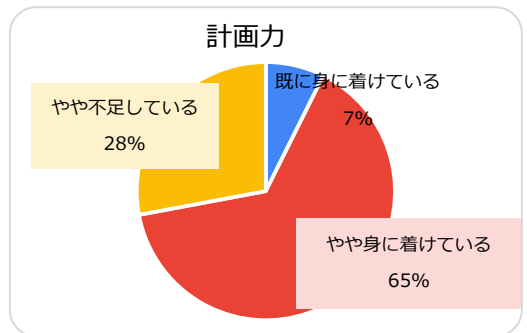
[3. 実行力]	件数
既に身に着けている	12
やや身に着けている	51
やや不足している	5
不足している	0
総計	68



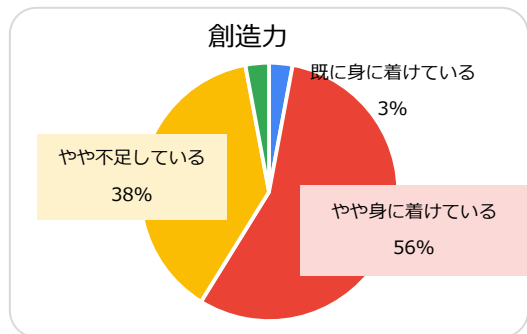
[4. 課題発見力]	件数
既に身に着けている	3
やや身に着けている	39
やや不足している	25
不足している	1
総計	68



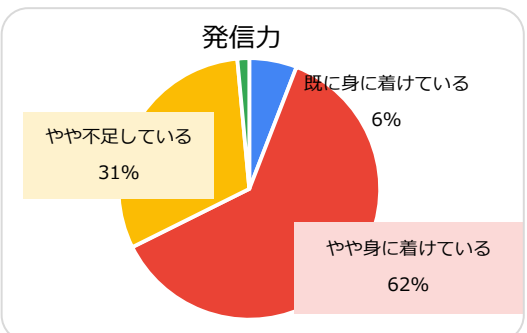
[5. 計画力]	件数
既に身に着けている	5
やや身に着けている	44
やや不足している	19
不足している	0
総計	68



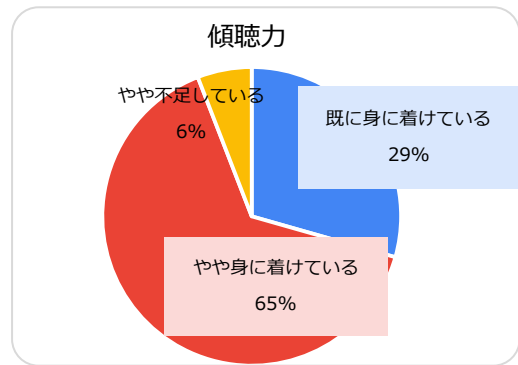
[6. 創造力]	件数
既に身に着けている	2
やや身に着けている	38
やや不足している	26
不足している	2
総計	68



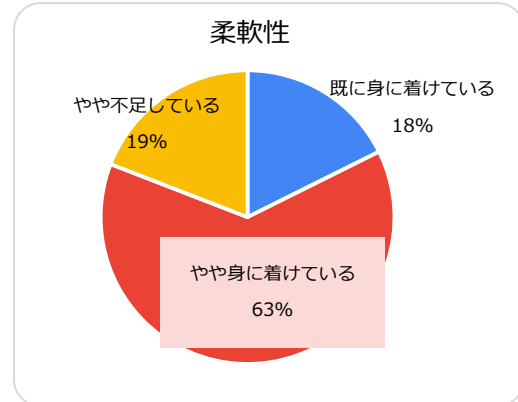
[7. 発信力]	件数
既に身に着けている	4
やや身に着けている	42
やや不足している	21
不足している	1
総計	68



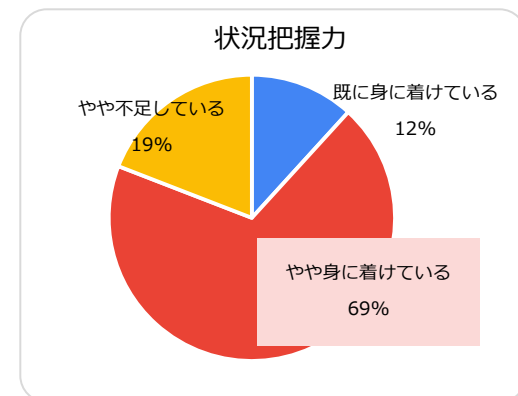
[8. 傾聴力]	件数
既に身に着けている	20
やや身に着けている	44
やや不足している	4
不足している	0
総計	68



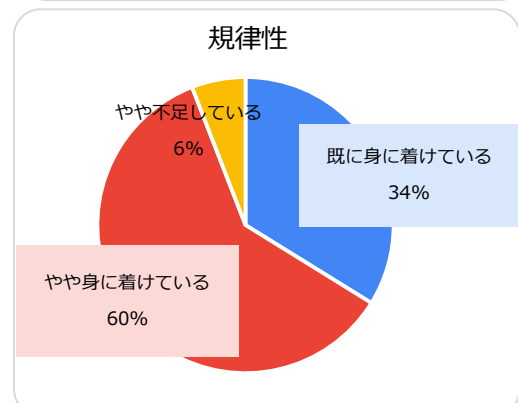
[9. 柔軟性]	件数
既に身に着けている	12
やや身に着けている	43
やや不足している	13
不足している	0
総計	68



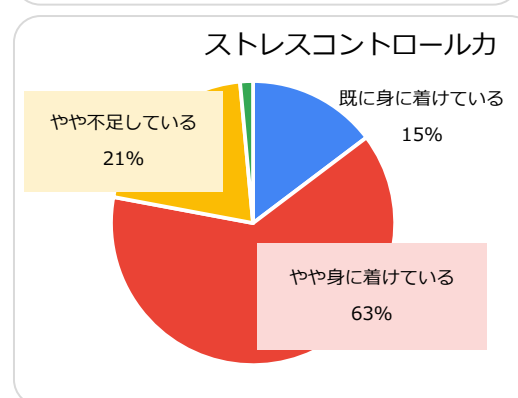
[10. 状況把握力]	件数
既に身に着けている	8
やや身に着けている	47
やや不足している	13
不足している	0
総計	68



[11. 規律性]	件数
既に身に着けている	23
やや身に着けている	41
やや不足している	4
不足している	0
総計	68



[12. ストレスコントロール力]	件数
既に身に着けている	10
やや身に着けている	43
やや不足している	14
不足している	1
総計	68

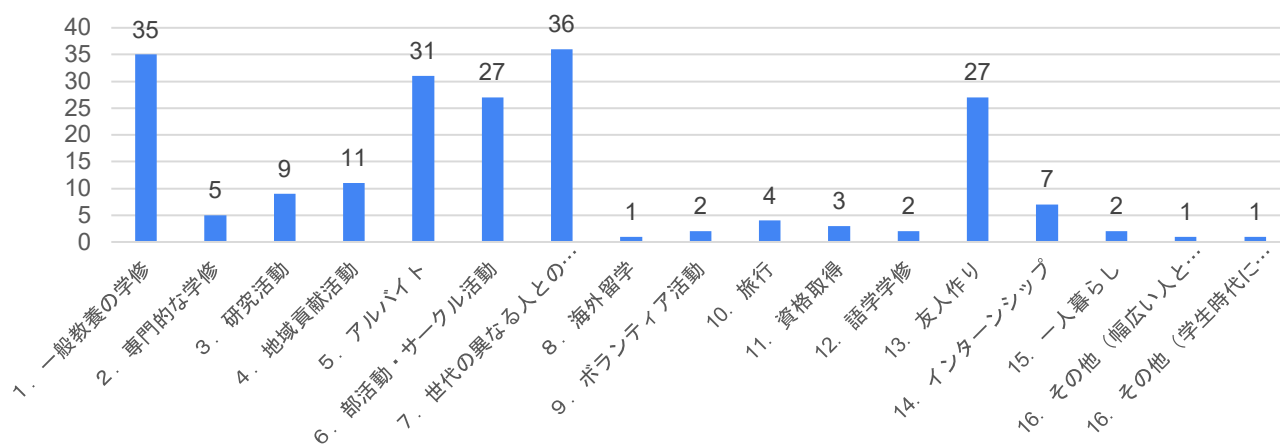


貴社が本学学生に求めること

(1) 学生に対して、「在学中にしっかりと経験しておいてほしいこと」をお聞かせください。
(3つまで選択してください)

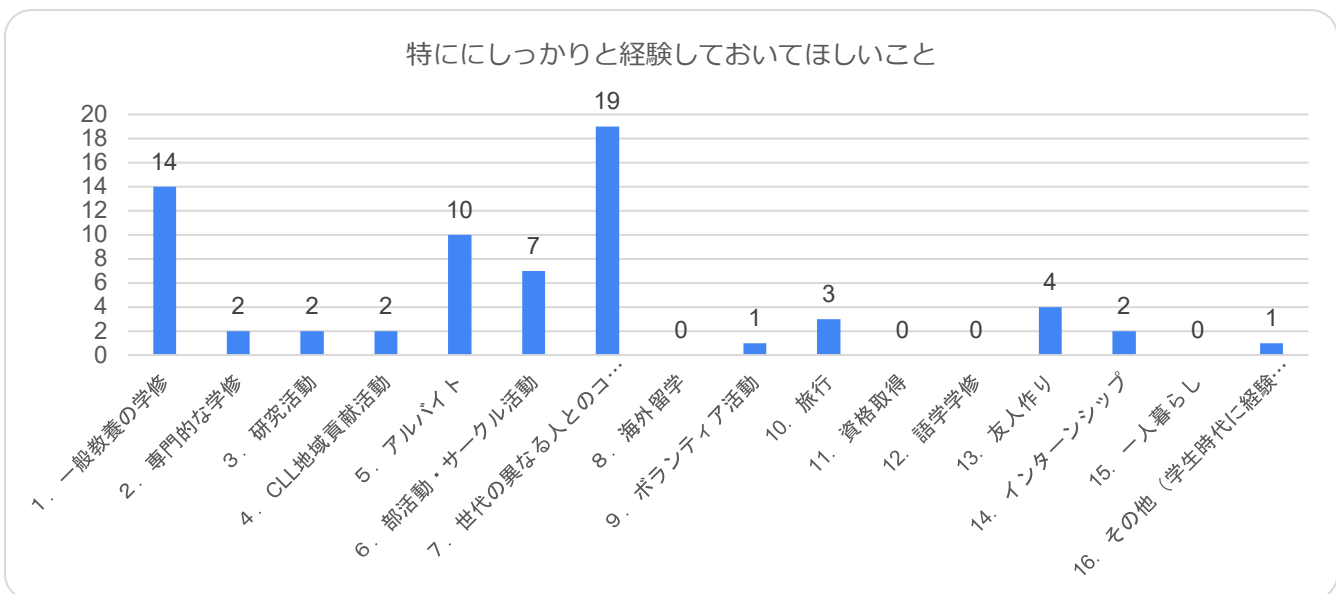
在学中にしっかりと経験しておいてほしいこと	件数
1. 一般教養の学修	35
2. 専門的な学修	5
3. 研究活動	9
4. 地域貢献活動	11
5. アルバイト	31
6. 部活動・サークル活動	27
7. 世代の異なる人とのコミュニケーション	36
8. 海外留学	1
9. ボランティア活動	2
10. 旅行	4
11. 資格取得	3
12. 語学学修	2
13. 友人作り	27
14. インターンシップ	7
15. 一人暮らし	2
16. その他（幅広い人との関わり。アルバイト、課外活動などを通して。）	1
16. その他（学生時代に経験できることはすべて、やり残しのないように。）	1
総計	204

在学中にしっかりと経験しておいてほしいこと



(2-1) 「(1)」にて回答いただいた項目のうち、特に「在学中にしっかりと経験しておいてほしいこと」はどれですか。

特にしっかりと経験しておいてほしいこと	件数
1. 一般教養の学修	14
2. 専門的な学修	2
3. 研究活動	2
4. CLL地域貢献活動	2
5. アルバイト	10
6. 部活動・サークル活動	7
7. 世代の異なる人とのコミュニケーション	19
8. 海外留学	0
9. ボランティア活動	1
10. 旅行	3
11. 資格取得	0
12. 語学学修	0
13. 友人作り	4
14. インターンシップ	2
15. 一人暮らし	0
16. その他（学生時代に経験できることはすべて、やり残しのないように。）	1
未回答	1
総計	68



(2-1) その理由をお聞かせください。

1. 一般教養の学修を選んだ理由

大学生としての基本を身に付けていただきたい。

基礎知識を身につけて欲しいため

学生生活は人生に一度きりであり、基本的には、学生時代にしかできないことを満喫してほしい。学生から社会人へ、企業に入社となり、スタートラインに立った時、ある程度の一般教養があれば、戸惑いも少なく、社会人としての生活に早く馴染むことができると思う。専門的な分野については、入社後、業務をしていく中で、習得していけば良いと考える。

もっとも基本的なことだから

社会人として必要なことは、社会人となってから習得し成長する部分がほとんどだと感じる。大学生生活で「しっかりと身につける」ことはどんなことであれ重要だが、期待のし過ぎは良くないという認識。

学生の本分は勉強ですので、基礎作りとしてまずはそこに取り組んでほしいと思います。その上で、研究やアルバイト、サークル等に打ち込み、社会性も伸ばしてほしいと思います。

教養を身につけることは、営業活動におけるコミュニケーション向上に資するから。

社会の変化が激しい中、適応するためのベースとして欠かせない為。

幅広い知識が必要

職業人として世の中と接したとき、一般教養で修めた科目は一見専攻と違うようであり、物の考え方、捉え方などにおいてどこかで繋がっていると思える事が多々あるのではないかと思います。また視野を広くすることは価値観の多様化にも対応しやすいのではないかと考えます。

様々な経験をしている利用者に対して、様々な知識で話題を作り出したり、一般常識的な話ができるようにしてほしい。知識の引き出しを多く持ってほしい。専門外の、一見職業に無関係に見える事柄でも、自身の感性を磨き、利用者に共感する心、利用者の成育歴や環境を理解する手助けになると考えるから。

金融関係の仕事内容は幅広いため、一般教養は基本となるため

2. 専門的な学修を選んだ理由

価値観や思考力、やる気・元・人柄が現れると考えます。

経験・知識問わず採用はしておりますが、業界に関する専門知識があった方が入社後の研修がスムーズに進むため。

3. 研究活動を選んだ理由

基礎力をつけたうえで、活躍してほしいから。

大学だからこそ経験できることだから

4. CLL地域貢献活動を選んだ理由

行政を担う者として地域住民との関わりは重要であり、在学中に地域住民の方と直接関わる機会を経験し、今後に活かせるスキルを習得して欲しい。

5. アルバイトを選んだ理由

アルバイトを通じて、お客様との関わり・仕事とは何なのか・人間関係の構築など、様々な学びがあると考えたため

学校以外の方とのコミュニケーションが学べ、仕事の経験もでき、アルバイト経験者は社会に順応するのが早い傾向にある。

学生のうちに、社会の上下関係や、働く意義に触れる良い機会だから

社会経験があれば強みになるから

業務において人との接触は避けられないため、職場経験は重要

社会との交わりを持つ

社会人として求められるルールやマナー、常識を身に付けて欲しい

アルバイトを通じて、社会性、責任感等を養うため。お金を稼ぐ大変さも体験できるため。

「接客」なので人と接することに理解を深めてほしいです。

弊社が人材業界の会社で、販売・接客業務からスタートする為アルバイト経験をして頂いているの方が、働くイメージをしやすい為

6. 部活動・サークル活動を選んだ理由

周囲の人との関係構築の上で有意であると思います

協調性・コミュニケーション力の習得に繋がると考えているため

活動を通して、人とのコミュニケーションや一つの目標に向けて取り組む力がつくから。

「1つのものごとに熱中したことがある」という経験を重視しているため

消防活動は、チームワークが大切になってきます。部活動やサークル活動を通じ、チームワークの大切さ・1つの目標に向かって切磋琢磨して頂くことをしっかり経験して頂きたいです。

部活動で培う協調性と体力は警察にも活かせるため

目標に向かい活動した学生に期待している為。また先輩後輩との関係も築ける為。

7. 世代の異なる人とのコミュニケーションを選んだ理由
視野が広がるから
自己表現力を磨き、プレゼンテーションや折衝・交渉力向上のため
コミュニケーション能力が仕事で生かせるため
敬語をしっかりと学ぶことが出来ると思うため
幅広い年代の方と対応するのが仕事なので、経験あるといいと思います。
他人とのコミュニケーションが取れない、苦手な方が多いのと、社会に出れば今まで知り合いになり得なかった人達と仕事をする事も多いため。
相手の言うことを聞き取る力や自分の言葉を伝える力が鍛えられる
世代が異なる人とのコミュニケーションを取ることで、気づけることが多いと考えるため。
8業務をチームで行うため。
仕事上、同世代と話すことの方が少なくなるため。
職員の世代が広く、また高齢者の方々と触れ合う仕事のため
異世代の方とのコミュニケーション能力を身につけていただきたい
社会に出ると世代の異なる人と出会うことになります。上手くコミュニケーションが取れば良い関係を構築することもできますし、万が一こじれた時、そこまで極端に関係が悪化することはないはずです。在学中に一人でも多くの人と出会い、コミュニケーションを取ることでそこから得る経験を自身の糧にさせていただきたく思います。
お客さまとのコミュニケーションはもちろん、同じ職場で働く仲間とのコミュニケーションが定着率向上のためにも重要であると考えます。
学生時代は限られた方との交流だと思いますが、当社では社内だけでなく、店舗で幅広い年齢層の方と関わるため、より経験して頂きたい項目に致しました。
従業員に年上の方が多いため
自分の考えや意見を、子ども、同世代、上司、あらゆる方に率直に、伝え話せる資質がとても大切であると考えている為です。
会社では、社内社外でいろいろな世代の人とかかわりが増えるため、前もって色々な人とのコミュニケーションが取れるようになってほしいと考えるため。

9. ボランティア活動を選んだ理由

社会人になり働き始めると仕事で手一杯になり、時間がないと思うので学生の時間のあるうちに何か経験してほしい。

10. 旅行を選んだ理由

安い時期に長期で旅行に行けるのは学生のうちしかないから
 旅がキーワードの会社であるため（お客様の旅を支えるには、従業員も旅を通してさまざまな経験をし、旅の魅力を理解し仕事に活かすことが大切である）

13. 友人作りを選んだ理由

人と接することはすべて勉強になるから

対人関係を円滑にする能力が求められるため。

コミュニケーション能力を身に付けて欲しいため

ストレスを解消するなのに友人はかかせない存在

14. インターンシップを選んだ理由

社会との関わりを経験することで仕事に役立つことがあるため

実感を伴う経験が不足しているように思います。学生のうちから、経験をする中での、気づきや、感じとり考える力をつけるカリキュラムがあるとよいと思います。

16. その他

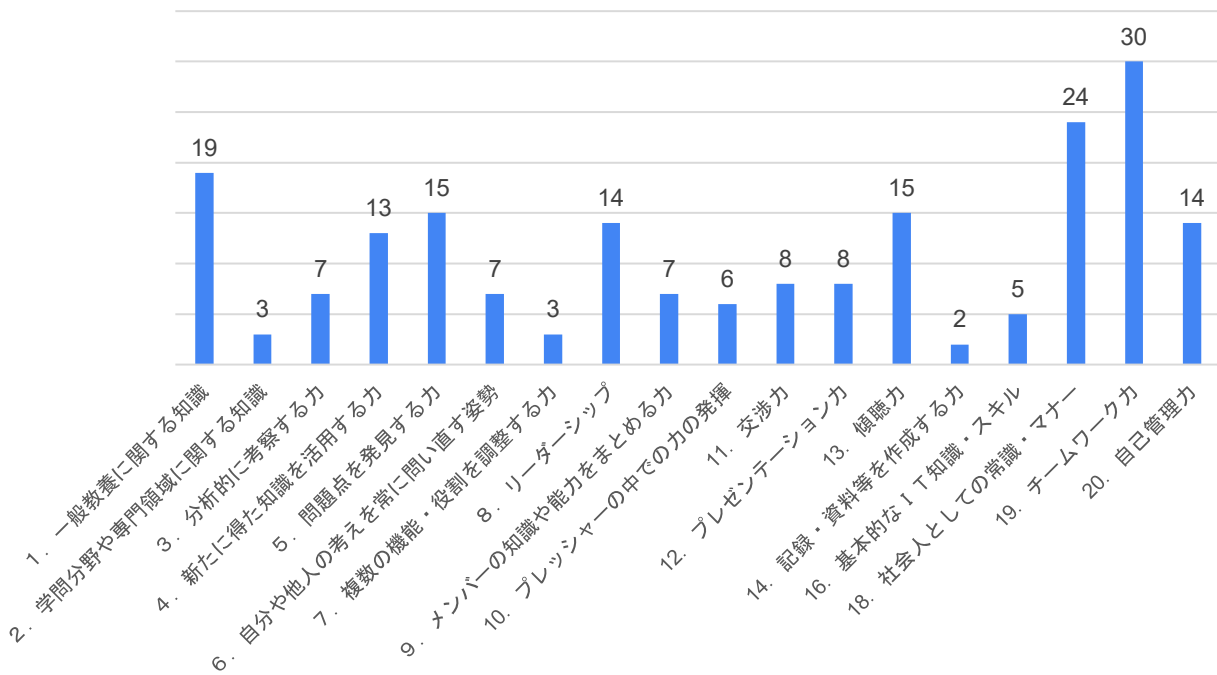
やり残したことがあると未練になり、社会人としての切り替えができないから

(3) 学生に対して、「大学の授業を通して身に付けてほしいこと」をお聞かせください。

(3つまで選択してください)

大学の授業を通して身に付けてほしいこと	件数
1. 一般教養に関する知識	19
2. 学問分野や専門領域に関する知識	3
3. 分析的に考察する力	7
4. 新たに得た知識を活用する力	13
5. 問題点を発見する力	15
6. 自分や他人の考えを常に問い直す姿勢	7
7. 複数の機能・役割を調整する力	3
8. リーダーシップ	14
9. メンバーの知識や能力をまとめる力	7
10. プレッシャーの中での力の発揮	6
11. 交渉力	8
12. プレゼンテーション力	8
13. 傾聴力	15
14. 記録・資料等を作成する力	2
15. 外国語で書いたり話したりする力	0
16. 基本的なIT知識・スキル	5
17. 簿記・FPなどの実務資格	0
18. 社会人としての常識・マナー	24
19. チームワーク力	30
20. 自己管理力	14
21. その他 (繰り返し繰り返し行う継続力)	1
総計	201

大学の授業を通して身に付けてほしいこと



本学へなにか要望等があればお聞かせください。（一部抜粋）

今後、入社して頂く学生、若い人達に求めることは、“考える力”であります。“誰かがやってくれるだろう”や“指示を待とう”という受け身ではなく、主体性を持って、常に自主的に取り組める人材に期待しております。それに加え、今、時代が変化するなか、特に情報通信業界は、岐路に立っている状況であり、今後の若い世代の方々には、創造性を持った、新しい風（提案や意見）を吹き込んでくれるような部分にも期待しています。

御校の学生に限らず、マナー・礼儀や一般教養（読み書き・四則演算）が欠けている方が散見されます。社会に出て必ず必要なものです。しかし、身につけていなくても指摘されづらいものです。足りないことに気づかない本人は、恥ずかしい思いをすることもありません。マナー・礼儀・一般教養を求められていることすら知らないからです。「大学」という機関ではなかなか指導しづらい部分かとは思いますが、ご検討ください。

何事も経験してから身につくものだと感じております。今後ともよろしく願いいたします。

大学の4年間は学習だけでなく、友人や教員の方々との時間また、ボランティア活動などを通してより広い視野を持つためのところかと存じます。そうした機会を大切に、学生の皆様方が卒業生であることを誇りに感じる大学であり続けて頂きますよう願います。そして今後も貴大学の学生の皆様との関りを大切にしたいと存じます。

真面目で与えられた仕事に関しては責任感を持って行動できているが、自ら発信したりする主体性がやや乏しいと感じる。周りを見ながら仕事を見つけだし、積極的に行動する姿勢がほしい。

能力、知識、〇〇力等より、笑顔や礼儀、人柄が大切であると考えています。当法人ではそこに重点を置き、採用を決めています。

児童福祉の現場に関心を持ち、活躍できる学生さんを、貴大学と協力しながら育成できればと考えています。今後ともよろしくおねがい致します。

学業、部活、バイト等 何でもいいので目標を持ち活動した学生を採用したいです。